

◆高校生、大学生が参加する会議の開催状況と公共交通に対する意見や提言の御紹介

盛岡市では、市議会の議員活動の一環として、大学生や高校生など若い世代との意見交換など、交流を図る機会を設ける活動を行っております。そのなかで、これからの公共交通を支える若い世代から、公共交通に対する意見や提言が出されていることから、皆様にその一部をお知らせするものです。

1 学生が参加する会議

(1) もりおかmiraiおでかけミーティング

盛岡市の未来を担う学生に選挙や政治、身近な地方行政への関心を高めてもらい、まちづくりについて率直な意見をいただくことを目的として、ワールドカフェ方式による大学生との意見交換会。

ア 開催状況

平成30年度 「あなたが地域で大活躍するために」

第1回 10月11日 岩手県立大学学生14人

第2回 11月21日 盛岡大学学生21人

令和4年度 「盛岡市の20年後の未来」

第1回 11月9日 岩手県立大学学生24人

第2回 11月10日 岩手大学学生9人

第3回 11月17日 岩手県立大学学生12人

令和6年度 「盛岡市の10年後の未来」

第1回 11月13日 盛岡大学学生15人

第2回 11月14日 岩手大学学生19人

第3回 11月18日 岩手県立大学学生21人

令和7年度 「住み続けたくなるまち盛岡市を目指して」

第1回 11月14日 岩手県立大学学生11人

第2回 11月18日 盛岡大学学生29人

第3回 11月20日 岩手大学学生17人

(2) 盛岡市議会高校生議会

盛岡市議会では、公職選挙法の改正により選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられたことを踏まえ、次代を担う高校生に選挙や政治、また、身近な地方行政への関心を高めることを目的として、平成29年から高校生議会を開催している。

◆テーマ 「住み続けたくなるまち盛岡市を目指して」

ア 開催状況

平成29年7月27日 生徒39人（市立高校）

平成30年7月26日 生徒38人（市立高校）

令和3年7月27日 生徒16人（市立高校）

令和4年11月2日 生徒32人（市立高校、県立盛岡第二高校、盛岡第三高校）

令和6年11月1日 生徒35人（市立高校、県立盛岡第二高校、盛岡商業高校）

令和7年11月6日 生徒32人（市立高校、県立盛岡第二高校、盛岡第三高校、盛岡白百合学園高等学校）

### 3 公共交通に関する主な学生からの意見や提言

#### (1) もりおかmiraiおでかけミーティング

##### ◆令和7年度意見交換の内容（公共交通に関する部分を抜粋）

##### ア 交通利便性の向上

- ・「交通の便がいいまち」「交通に困らない街」「交通機関の充実」
- ・バスや電車の本数増加、乗り換えのスムーズ化
- ・道路の舗装や除雪の徹底

##### イ 公共交通の充実と多様化

- ・「公共交通が充実し、コンパクトなまち」
- ・バスや電車の種類や本数を増やす
- ・行きたい場所に行きやすい交通手段の確保

##### ウ 弱者にやさしい交通政策

- ・「子育て世代や高齢者などの弱者にやさしい交通政策」
- ・免許返納後の高齢者や子どもの移動支援
- ・公共交通を“福祉行政”の一部として位置づける

##### エ アクセスと生活利便性の確保

- ・医療や介護・子育て施設へのアクセス
- ・商業や娯楽施設への移動手段の確保
- ・「交通の便や娯楽施設の充実！！」

##### オ 情報発信と認知向上

- ・「交通の便を増やす（知らないのはもったいない！！）」
- ・利用しやすさを伝える広報や案内の工夫

##### ▼参考資料（大学別意見）

岩手県立大学
<ul style="list-style-type: none"><li>・交通の便がいいまち</li><li>・交通の便に困らない街</li><li>・公共交通が充実し、コンパクトなまち</li><li>・子どもを大切にし、医療介護へのアクセス。移動～交通手段の充実</li></ul>
盛岡大学
<ul style="list-style-type: none"><li>・公共交通はもはや”福祉行政”の分野。交通弱者への対応をしっかりとってほしい。</li><li>・交通の便がいい（バスの本数増やす、種類多）</li><li>・交通機関の充実</li><li>・まちが広く、お店や遊べる場所は中心部に集まっているため、移動手段（バスや電車）が充実していると住みたくなると思う。そのために、バス・電車の本数を増やし、乗り換えがスムーズになる時間にする</li><li>・子育て世代や高齢者などの弱者にやさしい交通政策</li><li>・交通の便・娯楽施設の充実！！</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ドアtoドアでどこにも行ける」というのは言い過ぎかと思いますが、免許を返納した高齢者や、子どもたちの移動が容易になる公共交通は重要と思いました。</li> </ul>
岩手大学
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段が多く、行きたい場所に行きやすい。</li> <li>・バスの本数を増やす。道路を舗装する</li> <li>・公共交通や除雪が行き届いている街</li> <li>・交通の便が良く、困らないまち</li> <li>・交通に困らない、お店が多いなど不便が少ない</li> <li>・交通の便を増やす（知らないのはもったいない！！）</li> </ul>

### ◆令和6年度意見交換の内容（公共交通に関する部分を抜粋）

#### ア 学生や若者の生活支援と交通コスト対策

- ・物価高や交通費の負担軽減は急務
- ・「仕送りは家賃、奨学金は学費、アルバイト収入が生活費」という現実 → 食費や交通費の値上がりが直撃
- ・公共交通の充実が若者定住の鍵

#### イ 高齢者・子育て世代へのやさしい交通政策

- ・バリアフリー対応
- ・免許返納後の移動支援
- ・子育て世代も安心して移動できる仕組み

#### ウ 公共交通の利便性・信頼性向上

- ・バスのダイヤ遅延解消
- ・ニーズに合った交通機関の整備
- ・自動運転など新技術の導入

#### エ 観光・産業との連携

- ・海外観光客が訪れやすい街
- ・観光資源の開発と交通網の整備
- ・中核産業＋周辺整備で家族が楽しく住める街

#### オ まちの魅力と情報発信

- ・若者からの岩手の魅力発信
- ・交通網＋娯楽施設の充実で活気ある街

### ▼参考資料（大学別意見）

盛岡大学
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高や税負担、公共交通問題など、学生は学生なりの課題解決を求めている</li> <li>・「仕送りは家賃、奨学金は学費に充当し、アルバイト収入が生活費という中で、食費と交通費の値上がりが生活の苦しさに直結している」という話を聞き、解決は急務であると痛感</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス等の公共交通機関の充実、若者のほか高齢者も盛岡に住みたいと思えるために重要</li> <li>・バリアフリーの交通手段や海外観光客が訪れやすい街</li> <li>・交通網が整い、活気のある街（バスのダイヤ遅延解消や交通網の整備と若者からの岩手の魅力などの情報発信）</li> <li>・公共交通の整備や中核的な産業の設置と周辺整備による家族が楽しく住める街の実現。</li> <li>・便利な公共交通網の整備と娯楽施設が増えてほしい。</li> </ul>
岩手大学
公共交通に関する発言は特になし
岩手県立大学
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通としての自動運転の普及や観光資源の開発など</li> <li>・公共交通網の充実と若者の集まる場所が必要</li> <li>・ニーズに合った公共交通機関が 発展した街</li> </ul>

## (2) 盛岡市議会高校生議会

### 令和7年度提言内容（公共交通委員会）

#### 【公共交通委員会（岩手県立盛岡第二高等学校）】

- 1 人手不足を解消するために、体験系のイベントを開催するなど、運転手という職の魅力を発信する。
- 2 自動運転技術や、バスに乗りたい人を把握し運行の効率化を図るシステム等の導入を検討するバス会社を支援する。
- 3 地域の企業と協力してラッピングバスなどを運行するバス会社を支援し、広告収入を生み出して運賃の低下につなげるとともに、バスの内外観を目立たせてバスの魅力を高める。

### 令和6年度提言内容（公共交通委員会）

#### 【公共交通委員会（盛岡市立高等学校）】

- 1 運転手の待遇改善に市が積極的に関与することや自動運転バスを採用すること、運転手の魅力向上や、運転免許取得年齢の引き下げなどで、バスの運転手不足を解消すること
- 2 IGRで実施している通学助成制度などを参考に、バスについても補助制度を拡充してバス料金の値下げに取り組むこと
- 3 他校との合同利用などバス乗車率の向上に努めて、滝沢方面も含めて、スクールバスを復活すること